海南高等学校美里分校　マンスリータイムズ

# 分校の窓から

07
2022

## 7.15　みさと天文台現地学習

７月15日（金）の午後、２年生６名と教員２名で紀美野町立みさと天文台を訪ね、現地学習を行いました。みさと天文台現地学習は２年生の地学基礎の授業で行われ、今年度も３回の実施を予定しています。

この日は朝から厚い雲に覆われ、時折雨が降る生憎の天気でしたが、昼頃から急に回復し、天文台に到着した時には、雲の切れ目から強い日ざしが差し込むまでになっていました。観測のチャンスとばかりに、挨拶もそこそこにして屋外に出ると、設置された望遠鏡で太陽の黒点を観測することができました。

みさと天文台は、環境庁が行った「星空の町コンテスト」で、旧美里町が日本有数の星のきれいな町に選定されたことから、町が星を観光資源にすべく天文台建設に乗り出し、1995年７月７日に開設されました。美里分校では、天文台の研究者による学校設定科目を開講するなど、開設当初より天文台との連携を続けており、現在は天文台現地学習でお世話になっています。

太陽の黒点を観察した後、大型望遠鏡がある「星の塔」に登り、山内千里天文台長から大型望遠鏡の説明を受けました。

口径105㎝の反射望遠鏡は、開設当時は公開望遠鏡として日本一の大きさを誇りました。使用している「苗村鏡」と呼ばれる鏡は、職人による手造りですが非常に精度が高く、現在これほどの大きさの鏡を手造りで造るのは困難なため、とても貴重なものとなっています。

この日は「星の塔」最上部のドームを開き、大型望遠鏡を使ってアークトゥルス（うしかい座α星）を観測しました。接眼部から覗く微かな光の揺らめきは、約37光年の時空を超える神秘さを感じさせてくれました。

みさと天文台は大規模改修工事を実施して、昨年リニューアルオープンしました。夜はドーム外側にあるベランダ展望デッキで、頭上に見える実際の星空と、プロジェクターで地面全体に映し出される星空の映像で、360°星に包まれる「ハイブリットプラネタリウム」を体験することが出来るそうです。

美里分校は、こうした地域の教育資源を活かしながら、今後も新しい企画に取り組んでいきたいと思います。

海南高等学校美里分校 マンスリータイムズ「分校の窓から」７月号
発行：和歌山県立海南高等学校 美里分校（TEL：073 - 499 - 0034）

## 7.7　企業見学会

本校では、県内産業への理解と就労に対する意識の涵養を目的に毎年企業見学会を実施しています。今年は７月７日（木）の午後に紀美野町内にある地元企業『金剛ダイス工業株式会社』を全校生徒で訪問しました。

この会社は小型部品をつくる金型等を制作するメーカーで、当日は製造現場の見学や作業体験などをさせていただきました。普段は馴染みがない金型について理解を深めるとともに、金型で造られた部品がゲーム機などの身近な製品に使われていることを知りました。

また、こうした製造現場でも社員間や顧客とのコミュニケーションが重要で、それが製品の品質にも影響することを学びました。

説明をしていただいた廣尾社長をはじめ社員の方々、職場の雰囲気から、仕事に対するこだわりと誇り、楽しさが感じられ、「働く」ことについて考えを深める機会となりました。

金剛ダイス工業株式会社

近畿コンピュータ電子専門学校

## 7.8　学校見学会

企業見学会に続く翌７月８日（金）、進学についてのイメージづくりと意識の涵養を目的に学校見学会を実施しました。全校生徒と教員４名が大阪府堺市の『近畿コンピュータ電子専門学校』と、高石市の『南海福祉看護専門学校』を訪ねました。

近畿コンピュータ電子専門学校では、IT・CG・ゲーム・電気の各分野に分かれての体験授業、南海福祉看護専門学校では保育士を養成するこども未来学科の施設見学及び学科説明、そして折り紙でトトロをつくる体験授業に参加させていただきました。

南海福祉看護専門学校

## 7.11　社会人スキルセミナー

７月 11 日（月）、若年者地域連携事業推進センターからジョブカフェわかやまの小山貴子先生を講師にお迎えして、社会人スキルセミナーを開催しました。３年生を対象に、就職の基礎知識から就職活動の流れ、心構え、ビジネスマナー、面接対策まで就職全般について教えていただきました。

社会人スキルセミナー

## 7.20　１学期終業式

７月 20 日（水）、１学期終業式が行われました。校長先生は挨拶の中で、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症に関わる様々な数値や『バイオインフォマティクス』という新しい学問分野を紹介し、現代社会における情報活用の重要性について話をしました。

ビッグデータの集積が進む現代社会では、必要な情報を主体的に収集し、それを適切に処理して発信するデータ活用力が求められ、学習やさまざまな場面でこうした力を身につけていくことが必要だと生徒に語りました。

アナウンス部門２位　谷口僚くん

育成功労賞受賞　牧野充洋先生

終業式に先立って行われた１学期の表彰式では、NHK 杯全国高校放送コンテスト和歌山大会のアナウンス部門で２位に入賞した放送部３年生の谷口僚くん、ラジオ・ドキュメント部門で作品が３位に入賞した放送部、そして、日本高校野球連盟と朝日新聞社から「育成功労賞」が贈られた体育科の牧野充洋先生に校長から表彰状や盾が渡されました。

牧野先生は、笠田高校、田辺高校の野球部で 19 年間にわたり監督や部長を務め、高校野球の育成と発展に尽くしてきました。その長年の貢献が評価され、12 日（火）の高校野球選手権和歌山大会開会式の直前に行われた表彰式で賞が贈られました。